



第6章 地域連携研究と研究成果の発信

村井, 良介 ; 前田, 結城 ; 坂江, 渉 ; 河島, 真 ; 木村, 修二 ; 古市, 晃

(Citation)

歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業, 15(平成28年度事業報告書):48-50

(Issue Date)

2017-03-17

(Resource Type)

report part

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81009779>



第6章

地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行

2016年12月28日付で第8号を発行した。特集「自然環境・生業の歴史から地域を考える」を編んだほか、論考2本、時評・書評・展示評を3本、フィールドリポートを3本、LINKを読むを2本などを掲載した。

特集 自然環境・生業の歴史から地域を考える

編集委員会 特集にあたって

水野章二 中世の環境と地域社会

橋本道範 「湖辺」のムラの確立と創造—「非力の村」論からみる—

高橋春成 シン垣遺構の保存と活用

木村修二 近世丹波における農作物の獣害と対策—史料紹介を兼ねて—

論考

松本充弘 十九世紀の大坂周辺地域における離檀問題と地域運営の転換—在郷町・平野郷町を事例に—

平岩泰典 在地代官家伝来史料より見る幕末期旗本平岩氏の家政について

フィールドリポート

槻橋修・佐野美幸・磯村和樹 福崎町辻川界限ジオラマ模型製作—柳田國男が暮らした街並みの復元事業—

萩原康仁 世界史の断片として—「青野原俘虜収容所開設100周年事業」—

平田正和 地域資料を如何に伝えていくか

『LINK』を読む

森下徹 地域活性化と歴史・文化財—特集「地域の再生」と歴史文化II」を読んで

清野未恵子 関係のつくりかたとその歴史から地域再生を考える

時評・書評・展示評

河野未央 神戸大学附属図書館「村上家文書の世界—近世×神戸×農村—」

森田喜久男 「播磨国風土記」特別陳列展

三村昌司 『過去を伝える、今を遺す—歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか』

活動報告

木村修二 神戸市東灘区住吉地区における連携活動について

木村修二 《新刊紹介》石川道子追悼事業実行委員会・編『石川道子著作集 近世西摂津の都市と農村』（神戸新聞総合出版センター、二〇一六年）

吉川圭太 科研費基盤研究S「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて—」の中間報告

木村修二 人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介（五）

吉川圭太 人文学研究科古文書室収蔵文書一覧（2015年度購入分）

（文責・村井良介）

地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費補助金研究

- ・平成 26 年～ 28 年度科学研究費補助金・若手研究 (B)「戦国大名分国およびその周辺地域における領域支配の研究」(研究代表者・村井良介)
- ・平成 26 年～ 28 年度科学研究費補助金・若手研究 (B)「郡県革命という視角による廃藩置県史像の再構成」

本研究は、2014～2016 年度にかけての継続課題である。本年度は関連する成果として大会報告 1 本、研究論文 1 本を発表することができた。(研究代表者・前田結城)
- ・平成 28 年～ 30 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (C)「現地調査を踏まえた「荒ぶる神」の鎮祭伝承の共同研究」

本研究は、現存する各国風土記(逸文を含む)にみえる「荒ぶる神」の鎮祭伝承に焦点をしばり、現地調査を踏まえた共同研究を行う。それにより、従来の屯倉制や国造制論とも関連付けながら、古代国家形成期の広域権力や倭王権による地域編成のあり方の具体的解明をめざす。今年度は、上記目的のため、『肥前国風土記』や『出雲国風土記』の「荒ぶる神」伝承の故地などを現地調査し、関連する地域情報の収集につとめた。本研究は、人文学研究科地域連携センターを基盤研究組織として実施し、研究代表者は坂江、分担研究者は、古市晃(神戸大)と高橋明裕(立命館大)の両氏である。(研究代表者・坂江渉)
- ・平成 28～30 年度科学研究費補助金・基盤研究 (C)「有末機関の研究ー有末精三新史料から見る占領初期の GHQ と日本陸軍ー」(研究代表者・河島真)
- ・平成 28～30 年度科学研究費補助金・基盤研究 (C)「近世南海地震記録の現代語訳化；防

災・減災活動への現地的活用にむけた実践的研究」(研究代表者・木村修二)

講演会・市民講座等

現地学習会「歴史から学ぶ防災 2015」での報告
2016 年 2 月 27 日(土)、和歌山県串本町文化センター大ホールを会場に、現地学習会「歴史から学ぶ防災 2015」(主催・和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、和歌山県立博物館)が開催(～28 日・すさみ町)され、「棟札に記された地震津波の記憶」と題する報告を行った。
(文責・木村修二)

兵庫県丹波市・上小倉歴史講演会での講演
2016 年 4 月 30 日(土)、兵庫県丹波市柏原町上小倉の上小倉公民館を会場に、上小倉歴史講演会が開催され、「上小倉村・1752 年ー一村明細帳は語るー」と題した講演を行った。
(文責・木村修二)

兵庫県立歴史博物館での講演
2016 年 6 月 5 日(日)、兵庫県立歴史博物館における同館主催歴史講演会において、木村が「明石藩主越前松平家とその家臣の家格・経歴をめぐって」と題した講演を行った。
(文責・木村修二)

大学 COC+ シンポジウム「地域歴史遺産としての怪異伝承 ～『尼崎百物語』を起点に～」での報告
2016 年 7 月 16 日(土)、尼崎商工会議所 701 会議室において、園田学園女子大学主催、ひょうご神戸プラットフォーム協議会共催で大学 COC+ シンポジウム「地域歴史遺産としての怪異伝承 ～『尼崎百物語』を起点に～」が開催され、

「COC+ 事業『地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム』〈歴史と文化〉」領域の取り組みについて」と題する報告を行った。

(文責・村井良介)

「TAMBA シニアカレッジ」での講演

2016年8月5日(金)春日住民センターにおいて、丹波市まちづくり部 生涯学習センター主催の「TAMBA シニアカレッジ」での講演を行った。演題は「日本史のなかの丹波史」とした。

(文責・前田結城)

出雲国シンポジウム 古代出雲とヤマト王権での報告

2016年9月19日、島根県・島根県教育委員会主催の「出雲国シンポジウム 古代出雲とヤマト王権」(大阪市中央区 松下IMPホール)にて、「葛城と出雲」と題して報告を行い、パネルディスカッションに参加した。

(文責・古市晃)

ふるさとの‘水の路’交流セミナーでの講演

2016年9月22日、東播磨流域文化協議会主催の「ふるさとの‘水の路’交流セミナー 播磨国風土記の世界 第1回講演会」(兵庫県立考古博物館)において「播磨国風土記からみた古代播磨と倭王権—紀伊・津守との関係を中心に—」と題して講演を行った。

(文責・古市晃)

公開シンポジウム「『播磨国風土記』研究の現代的意義」での報告

2016年11月22日、明治大学日本古代学研究所主催の公開シンポジウム「『播磨国風土記』研究の現代的意義」(明治大学駿河台キャンパス)において、「『播磨国風土記』からみた倭王権の地域編成」と題して報告を行い、パネルディスカッションに参加した。

(文責・古市晃)

第7回百舌鳥古墳群講演会「倭の五王と百舌鳥・古市古墳群—東アジアからみた巨大古墳—」での講演

2017年2月5日、堺市主催の「第7回百舌鳥古墳群講演会 倭の五王と百舌鳥・古市古墳群—東アジアからみた巨大古墳—」(堺市産業振興センター)において、「5・6世紀における倭王と王族」と題して講演を行い、パネルディスカッションに参加した。

(文責・古市晃)

愛知県・一宮市尾西歴史民俗資料館での講演

2017年2月19日(日)、愛知県一宮市尾西歴史民俗資料館を会場に、講座「歴史と民俗～歴史の虚と実」第2回講座として、「明石藩主暴虐伝承とその背景をめぐって」と題する講演を行った。

(文責・木村修二)